

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・予想に反し、4月は全体的に良かった。消費税増税前の駆け込み需要がなかったせいなのか、少し安心している。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・建築関係のお客様は多忙で、食事に出る暇もない様子。
		通信会社(企 画)	お客様の様子	・ここ数カ月続いているお客様の引き合いが若干衰えた感じもするが、傾向としては良くなっている。
		ゴルフ場(従業 員)	来客数の動き	・天候が良かったので来場者は若干増えつつある。予約状況も良い。
	変わらない	商店街(代表 者)	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要はみられなかった。一方、増税後の販売量の落ち込みは小さく、消費者マインドの悪化はなかった。
		商店街(事務局 長)	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が大きかった商品の反動減が大きく、しばらくは落ち込みが続く。ただ、全体としての消費マインドは萎縮していない。
		一般小売店[書 籍](営業担 当)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要がなかったため、反動減もない。
		スーパー(企画 担当)	単価の動き	・消費増税の影響で客単価や買上点数の減少がみられる。
		コンビニ(店 長)	単価の動き	・売上は前年比で5ポイント増えたが、前月比では2ポイント減少している。
		コンビニ(店 長)	お客様の様子	・4月は売上、来店客数共に今一つ。消費税増税の駆け込みの反動か、初旬の落ち込みがやや大きく、その後も改善されていない。
		その他飲食 [ファストフ ード](経営 者)	お客様の様子	・消費税増税の影響はさほど無かった。
		観光型旅館(経 営者)	お客様の様子	・4月は予想していたほど落ち込まず、売上等は前年と変わらない。客の様子では、消費税増税はあまり気にしていないように見える。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・消費税増税の影響は無かったものの、厳しい状況が続いている。	
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・消費税増税の影響は無かった。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	それ以外		・これまで内税であったものが、増税分3%の上乗せでなく、8%プラスする傾向が多く見受けられる。将来、消費税が10%になった時には、おそらくボディーブローのように消費動向に響いてくるだろう。
	一般小売店[生 花](経営者)	お客様の様子		・消費税を含めた予算で注文される客が多く、1人あたりの単価が下がった。
	スーパー(企画 担当)	来客数の動き		・消費税増税前の駆け込み需要の反動減で、加工食品など保存のきく商品の売上が前年と比べ、数パーセント落ちている。買い置きによる来店数減少の影響が大きい。
	スーパー(統括 担当)	販売量の動き		・外食から家での食事にシフトしているのか、肉や魚が売れている。
	スーパー(財務 担当)	販売量の動き		・消費税増税前の駆け込み需要の反動減がある。
	家電量販店(店 員)	販売量の動き		・販売量が3月までと比べ半分程度まで落ちている。
	その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	お客様の様子		・消費税増税前の駆け込み需要がみられた化粧品、日用品に反動減が生じている。
	旅行代理店(支 店長)	お客様の様子		・消費税増税の影響で、団体旅行も個人旅行も申込みが減少した。
	タクシー運転手	来客数の動き		・四国霊場開創1200年にあたる今年はお遍路の客が増えており、私個人の4月の売上は上昇している。しかし、今月からタクシー料金を値上げしたことで乗車する人が減り、業界全体は落ち込んでいる。
	タクシー運転手	お客様の様子		・「消費税が上昇したから」という声が多く聞こえた。初乗りを20円値上げした影響で、水揚げ等が下落している。

		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税に加え、新機種発売前のため市場の動きが鈍化している。
悪く なっている		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・消費税率が上がって景気が良くなるわけがない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・消費税増税後、さっぱり商品が動かなくなった。同業者も御問屋も口を揃えて言う。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税の反動で、衣料品を含めて大きく影響が出ている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・消費税増税の影響で売上は落ちたが、想定していたほど悪くない見込み。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要のあった商品部門に落ち込みがあった。
		コンビニ（総務）	単価の動き	・3月の消費税増税前の駆け込み需要の影響を顕著に受け、4月は客単価が約10%もダウンしている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・消費税増税が影響している。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税後は今までにないくらい落ち込んでおり、非常に厳しい。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で、新車の受注は大幅に減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・想定していたが、消費税増税後は極端に販売量が落ち込み、例年の半分ほどの実績となった。従来の状態に戻るまでどれくらいかかるか不安。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・消費税率引き上げの反動で、4月の新車受注は激減している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・2月と3月の受注残があったので登録（届出）台数は前年比15%の減少にとどまったが、受注台数では半減した。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・消費税増税の反動が非常に大きく、苦戦している。
	企業 動向 関連  (四国)	良く なっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き
やや良く なっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税率引き上げによる落ち込みは、予想したほどではなかった。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量は3か月前より増加している。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子は順調のようだ。思っていたよりも消費税に関する抵抗が少なかった。
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・商品貨物の輸送量が増加している。海外からの原料の輸入数量も増加傾向にある。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・例年、年度初めは受注量が増える。今年は消費税率が引上げられたが、例年同様に推移している。
変わらない		食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・得意先のスーパーマーケットでは、消費税増税後の売上維持に苦戦している。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数は増えているが、受注残高が減少している。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・例年は手持ち業務量が減少する時期だが、今年は確保できている。競争相手や同業他社では、新卒採用増や賃上げなどの意欲も出ており、ここ10年間で最も景況感が良くなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・技術職員不足で、思うほど仕事が取れない。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・本州への農産物の輸送は、消費税増税後の4月は取扱量が減少し、前年を下回った。本州から復便として輸送している商流雑貨はほぼ前年並みであった。消費税増税後は仕入れを控える業者もみられることから、受注減少が出荷物量減少に繋がっている。	

	公認会計士	取引先の様子	・各企業の4月の試算表・決算書等をみると、前年並みの企業が全体の約60%、約10%は下落、約15%程度が良くなっている。	
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月は消費税増税前の駆け込み需要があったが、4月以降はその反動減がある。3か月平均すると前年並みに落ち着くものと思われる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電システムの販売は好調に推移していたが、消費税増税分を値上げしたことで、大型、低圧、高圧、特高のうちの低圧と高圧の物件の動きが止まっている。	
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内は、消費税増税の反動で受注が減少している。海外需要において大きな変動要因はないが、得意先の在庫増に伴い、かすかな減少傾向がみられる。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・印刷サイズダウンあるいは回数減等により得意先の販促広告費が削減されている。	
悪くなっている	—	—	—	
雇用関連	—	—	—	
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・これまで一時的な人材活用であった派遣サービスについて、紹介予定派遣の依頼が増えており、企業の人員確保の仕方に一定の余裕が生まれている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・消費税増税で求人数の減少が心配されたが、製造業では増加している。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・依然、求人数が高止まりしており、求人案件（求人誌等掲載）が前年より多い。しかし、求職者数が少ないことから、採用に至らない企業がほとんどである。
		職業安定所（職員）	それ以外	・3月の有効求人倍率は1.11倍で、3か月前より0.02ポイント上昇している。
変わらない	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・消費税増税に伴い、消費意欲は停滞している。特に自動車、家電、貴金属関係は大きく影響を受けている。おそらく3か月から半年は回復しないのではないかと。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は好調を維持しているものの、非正規の求人が圧倒的多数を占め、採用者数が増えないミスマッチが続いている。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・サービス業では、かなりの人手不足感から多くの求人を募集する会社もあれば、会社の将来への不安から退職希望者が何人かいる会社もあり、採用に関する状況が大きく変わってきている。	
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・今月は介護老人施設などのオープンが多数あり、不動産以外では消費税増税による落ち込みは小さかった。求人広告も前月のレベルを維持した。	
悪くなっている	—	—	—	